

2010. 2. 26 第59号



地域づくりコミュニケーション  
— 農村振興メールマガジン —

農林水産省農村振興局



◆◆ 目次 ◆◆

【 農村振興支援情報 】

■ 地域の実態に応じた多様な取組

◇子ども農山漁村交流プロジェクトに向けた勉強会等を実施  
～栃木県茂木町～

◇古き良き文化の伝承を進めて  
～ 石川県白山市「白峰雪だるまの里協議会」～

■ 報告・お知らせ

◇「第4回日韓農業農村振興実務者ワークショップ」を開催  
(2/3～2/5)

◇「農林漁家民宿おかあさんサミット」を開催(2/23)

◇「第5回 美の里づくりコンクール」表彰式典の開催(2/24)

◇「オーライ!ニッポン」全国大会のご案内(3/10)

◇「田舎で働き隊!」成果報告会のご案内(3/17、27)

◇「ファーマーズマーケット@国連大学前広場」開催のご案内(2/27、  
3/27)

\*\*\*\*\*

■ 地域の実態に応じた多様な取組

◇子ども農山漁村交流プロジェクトに向けた勉強会等を実施

～栃木県茂木町～

中山間地域の特色を活かし、棚田やユズなどの地域資源を活用した都市住民との交流に取り組んでいる茂木町では、廃校を利用した交流施設「昭和ふるさと村」を運営するNPO法人や地域の農業者、教育関係者、町役場等からなる「たかばたけグリーンツーリズム協議会」が発足し、都市農村交流の促進による農山村の活性化を図る取組が進められています。

去る2月5日、6日には、「子ども農山漁村交流プロジェクト」受入に関する勉強会や受入地域の安全管理研修会が開催され、協議会関係者を中心に、多くの行政関係者、農業者が参加して、子ども農山漁村交流プロジェクトの内容や受入体制の整備に係る熱心な検討が進められました。

「昭和ふるさと村」の詳細については次のホームページをご覧ください。

<http://www.npo-furusato.com/aboutus.html>

(関東農政局農村計画部農村振興課)

\*\*\*\*\*

◇古き良き文化の伝承を進めて

～ 石川県白山市「白峰雪だるまの里協議会」～

石川県白山市白峰地域は、伝統的街並みを背景として、温泉施設や白山恐竜パーク白峰などがある地域です。

白峰雪だるまの里協議会は、白峰地域特有の様々な文化を貴重な地域資源として捉え、「出作り文化」、「食生活文化」、「景観歴史文化」、「民俗生活文化」、「祭り文化」及びこれらを新たに活用する「創造的文化」に分け、それぞれの分野ごとに、イベント活動、伝承活動、教育活動、広報啓発活動などの事業を行うことによって、文化を守り育てる人材の育成を進めています。

特に、村おこしの典型と評価されている本地域の「雪だるままつり」の基本理念に則り、活動方針を「住民参画」、「地域資源活用」、「次代を担う人材育成」とし活動を行っています。

その一環として、本年度は「桑島雪だるままつり」を2月5日(金)、「白峰雪だるままつり」を2月12日(金)に開催しました。

また、協議会のメンバーである雪だるま倶楽部や金沢工業大学等により、古民家を「雪だるまカフェ」として再生し、伝統的な食文化の伝承とともに、地域住民とふれあう場も提供しています。

是非一度白峰へ足を運んでみてください。  
詳細は、次のホームページよりご覧ください。

<http://homepage3.nifty.com/yukidaruma-club/index.html>

(北陸農政局農村計画部農村振興課)

\*\*\*\*\*

■ 報告・お知らせ

- ◇「第4回日韓農業農村振興実務者ワークショップ」を開催  
(2/3～2/5)

海外土地改良技術室では、2月3日(水)から2月5日(金)にかけて、7名の韓国代表団を迎え「第4回日韓農業農村振興実務者ワークショップ」を開催しました。

本ワークショップは、平成18年度より、韓国との技術交流の一環として日韓双方の技術力の向上、連携の強化及び中堅・若手職員の人材育成を目的に、年1回日韓相互で開催しており、4回目となる今回は日本(農林水産省)での開催となりました。

2月3日及び5日に開催したセミナーでは、省内及び関係団体から延べ40名程度の傍聴のもと、中山間地域等直接支払制度や農業用水の水質管理、バイオマス利活用推進施策等の日韓における最近の農業農村振興に関する取組について、日韓双方6名ずつが英語で発表・質疑応答を行い、日韓双方及び傍聴者から積極的に質問・コメントが寄せられ、活発な意見交換が行われました。

韓国側からは、中山間地域を保全する必要性や、バイオ燃料の経済性等に関する質問、コメントがあり、日本側からは、韓国における農業水利施設の維持管理状況や、地下ダムの整備状況、水質の監視に係る費用負担等についての質問がありました。

2月4日には、ストックマネジメント実施地区として茨城県小美玉市の基幹水利施設ストックマネジメント事業石岡台地第一揚水機場地区、バイオマス利活用の取組事例として千葉県香取市の山田バイオマスプラントの視察を行いました。

来年は韓国で開催される予定です。

(設計課海外土地改良技術室)

\*\*\*\*\*

◇「農林漁家民宿おかあさんサミット」を開催(2/23)

平成22年2月23日(火)に、ウェルシティ東京(東京都新宿区)にて第3回「農林漁家民宿おかあさんサミット」が開催されました。サミットでは、第3回「農林漁家民宿おかあさん100選」認定式及びパネルディスカッションが行われました。

今回のサミットには、第3回「農林漁家民宿おかあさん100選」の選定者のほか、農林漁家民宿の女性経営者や観光関係者等が全国から集まりました。

認定式では、青木辰司選定審査委員長がひとりひとりの「おかあさん」方に認定証を授与しました。また、パネルディスカッションでは、認定者5名の「おかあさん」方による各地の取組の紹介や意見交換が行われ、「おかあさん」方を核とした地域づくりの展望等について議論を深めることができました。

詳細は「農林漁家民宿おかあさん100選」のページをご覧ください。

<http://www.ohrai.jp/okasan100/>

(都市農村交流課グリーン・ツーリズム班)

\*\*\*\*\*

◇「第5回 美の里づくりコンクール」表彰式典の開催(2/24)

2月24日(水)、東京都千代田区の如水会館において、「第5回 美の里(びのさと)づくりコンクール」の農林水産大臣賞等、各賞の表彰式典が開催されました。

「美の里づくりコンクール」は、地域の自主的努力により保全・形成されている農山漁村の美しい景観づくりの活動を行っている全国各地の集落や団体を表彰するものです。

式典では、郡司農林水産副大臣より農林水産大臣賞が、吉村農村振興局長より農村振興局長賞がそれぞれ授与されました。

各賞受賞団体は、次のとおりです。

○農林水産大臣賞

・栃木県那須町 『芦野の里づくり委員会』

○農林水産省農村振興局長賞

- ・京都府福知山市『毛原の棚田農業体験ツアー実行委員会』
- ・長崎県長崎市『大中尾棚田保全組合』

○美の里づくり審査会特別賞

- ・北海道当別町『当別町亜麻生産組合』
- ・石川県津幡町『河北潟干拓地ひまわり村』
- ・佐賀県白石町『川津資源保全隊』

また、各団体の活動内容は、下記のホームページよりご覧ください。

農林水産省ホームページ「選賞地区の概要」

[http://www.maff.go.jp/j/nousin/noukei/binosato/b\\_concours/06\\_gaiyo/index.html](http://www.maff.go.jp/j/nousin/noukei/binosato/b_concours/06_gaiyo/index.html)

(財)農村開発企画委員会ホームページ「美の里づくりコンクール 表彰事例」  
<http://www.rdpc.or.jp/contents/03binosato/03binosato05.html>

(都市農村交流課活性化企画班)

\*\*\*\*\*

◇「オーライ！ニッポン」全国大会のご案内（3／10）

オーライ！ニッポン会議では、都市と農山漁村を行き交う新たなライフスタイルを普及し、都市住民がゆとりと安らぎを感じる社会を創造すると同時に、農山漁村の地域経済の活性化に結びついていく方策について探るため、第7回オーライ！ニッポン全国大会を開催致します。

【日 時】 平成22年3月10日（水）

【場 所】 有楽町朝日ホール

詳細はこちらをご覧ください。

<http://www.ohrai.jp/news/jdr028000002hgds.html>

(都市農村交流課グリーン・ツーリズム班)

\*\*\*\*\*

◇「田舎で働き隊！」成果報告会のご案内（3／18、20）

今回、「ニッポンのムラ力向上プロジェクト（注）」の一環として行われる「田舎で働き隊！」の成果報告会のうち、一般の方が参加可能なものを2つ紹介します。農山漁村で農作業に汗を流した方もいれば、地域の魅力発信に携わった方等、研修に参加した方々の様々な「生の声」を聞くことができます！農山漁村を元気にしたい方、田舎暮らしに興味のある方、研修生の受入を考えている

方などが参加できます。

○ 「私たちが東北のムラを元気にします！

～東北のムラで働き隊！プロジェクト 成果発表セミナー～

【団体名】 (株) プロジェクト地域活性

【日 時】 平成22年3月18日(木) 13:00～15:30

※場所時間等の詳細はHPにて再度御確認ください。

【場 所】 宮城県仙台市青葉区春日町2-1

せんだいメディアテーク 7F スタジオシアター

【H P】 <http://www.prokatu.jp/>

【問い合わせ先】 (株) プロジェクト地域活性 事業企画部

電話：022-205-3540

○ アミタ持続可能経済研究所「田舎で働き隊！」最終報告会

【団体名】 (株) アミタ持続可能経済研究所

【日 時】 平成22年3月27日(土) 14:00～16:30

※場所時間等の詳細はHPにて再度御確認ください。

【場 所】 東京都港区 南青山会館

【URL】 <http://www.aise.jp/seminar/index.html>

【問い合わせ先】 (株) アミタ持続可能経済研究所 地域活性化支援室

電話：03-5215-8266

(注)「ニッポンのムラ力向上プロジェクト」については、次のホームページをご覧ください。

<http://www.mura-chikara.jp/>

(都市農村交流課活性化企画班、定住促進班)

\*\*\*\*\*

◇「ファーマーズマーケット@国連大学前広場」開催のご案内

(2/27、3/27)

～都市と農山漁村を繋ぐコーディネーターが薦めする逸品が青山にお目見え～

青山という若者が来街する場所で、農業の魅力を伝え、日本の第一次産業を改めて都市生活者に考えて頂くことを目的として、生産者が直接、都市生活者に農産物を販売する「ファーマーズマーケット@国連大学前広場」が開催されています。

2月27日（土）、3月27日（土）には、都市と農山漁村を繋ぐ活動をしている「ニッポンのムラ力向上プロジェクト実行委員会」がお薦めする農家が出店し、農業の魅力を来場者に直接伝えながらこだわり野菜の販売をします。

詳細情報は「ニッポンのムラ力向上プロジェクト」ホームページ内のサテライトページをご覧ください。

<http://mura-chikara.jp/satellite/>

（都市農村交流課活性化企画班）

\*\*\*\*\*

#### ◆◆ 編集後記 ◆◆

今月、東京で積雪がありました。積雪のあった次の日、通勤途中のある宅地内に、子どもが一人入れそうな「かまくら」を発見しました。ご家族で作ったものと思われませんが、数センチの積雪で子どもが入れるほどの大きさのかまくらを作ったのですから、それはもう、いたるところから雪をかき集めてきたに違いありません。

塵も積もれば山となるといいますが、まさにそれを体現したような光景を何度も振り返らずにはいられませんでした。（M）

\*\*\*\*\*

#### ◆◆ ご意見をお寄せ下さい ◆◆

本メールマガジンに対する皆さまの声を遠慮なくお寄せください。また、皆さまの地域での活動や取組の紹介などもお願いします。皆さまからのご質問・ご意見、地域の活動などの情報につきましては、可能なかぎり回答あるいは紹介させていただきます。

本メールマガジンに関するご質問・お問い合わせについては、次のサイトから送信をお願いします。

<https://www.contact.maff.go.jp/maff/form/b6c2.html>

農村振興メールマガジンのバックナンバーは次のサイトでご覧いただけます。

<http://www.maff.go.jp/j/nousin/nousei/e-mag/index.html>

\*\*\*\*\*

#### ■ 編集発行

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局農村政策部農村計画課（担当）増田

TEL：03-3502-6001 FAX：03-3501-9580

\*\*\*\*\*